別紙様式

意見交換会実施報告書

平成２９年１０月２５日

登米市議会議長　及　川　昌　憲　様

第１班　　代表者　伊　藤　　栄

１．意見交換会の概要

開催日時		平成２９年月１０日１２日　午後７時　～　８時３０分
開催場所		登米公民館（講座室）
出席議員		代表者：伊　藤　　栄 司会者：須　藤　幸　喜 報告者：工　藤　淳　子 記録者：佐　藤　恵　喜・岩　渕　正　弘・曽　根　充　敏
参加市民数		１５　人
実施内容	議会報告	・議会活動報告について ・財政状況について 29 年度一般会計予算及び当初予算の主なものについて ・常任委員会からの報告
	意見交換	テーマ 『人口減少の歯止め』 今回の意見交換会に際して、地元コミュニティとの打ち合わせを数回実施し、様々な地域の課題がある中で、最終的には少子高齢化を避けて通るわけにはいかないとの見解になり、人口減少をとらえたテーマとした。 参加された方々からのご意見には、あまり大きな問題提起であり、何から話せばよいのかとの、テーマ設定についての意見あった。

２．市民の質問・意見等

会場で回答したもの	質　問	・豊里のソニーのような大企業が無くなることも人口減少の要因ではないか。 ⇒ソニーは突然に撤退することとなった。 ・人口減少をくい止めるのは、魅力を感じて来てくれる人をターゲットにして定着による施策をとることが歯止めとなるのではないか。 ⇒第二次登米市総合計画の将来ビジョンにおいて、戦略的な視点を持って総合的な見地から取り組んで行く。
	意　見	・テーマであるが、大変漠然としている。各地区でもテーマはあるが、具体的な案を出して討論すべきではないか。 ⇒今後の開催時には、テーマに沿った議会としての意見を集約し、話題提供を行っていく。
	要　望	
	提　言	
	（　　）	
会場で回答していないもの	質　問	・北朝鮮のミサイルでのＪアラート、議会ではどのようにするかという話し合いはなされているか。 ・選挙公報が出る前に、期日前による投票ができる仕組みであるが、それで良いのか。
	意　見	・女川原発は再稼働すべきでない。 ・定住地が地方のわりに高い。補助金でも創設して取り組まなければならない。 ・総合支所の窓口対応が悪い（定住しようとした人の談有） ・企業誘致が特効薬ではない。現在の企業撤退を助長することはマイナスになる。 ・若者と話をしたほうが良い。魅力ある街は若者であると考える。
	要　望	
	提　言	
	（　　）	
その他 特記事項		